

会議の概要

会議の名称	令和6年度あま市地域福祉計画推進委員会		
開催日時	令和7年1月31日（金）午前10時から		
開催場所	あま市役所 2階 F会議室		
議 題	1 あいさつ 2 委員紹介 3 協議事項 (1) あま市地域福祉計画推進委員会委員長の互選について (2) 「第3次あま市地域福祉計画」令和5年度事業実績・令和6年度実施計画について 4 その他		
会議資料	1 あま市地域福祉計画推進委員名簿 2 あま市地域福祉計画推進委員会要綱 3 「第3次あま市地域福祉計画」令和5年度事業実績・令和6年度実施計画		
公開・非公開の別 （非公開の場合は その理由）	公開		
傍聴人の数 （公開した場合）	なし		
出席委員	渡邊 剛 服部 章平 加藤 美由紀 田中 裕美 立松 愛唯	鈴木 千鶴 井村 なを子 山本 正子 加藤 昭宏	静谷 貴代子 武藤 二三夫 溝口 正己 戸田 輝子
欠席委員	下方 辰幸	小林 直也	野田 充彦
事務局	社会福祉課 課 長 國立 強志 主 幹 寺西 省吾 課長補佐 高橋 美果 係 長 加藤 秀一 主 査 遠藤 可奈		

議事内容

事務局	欠席の委員の方以外おそろいですので、時間早いですが、ただいまから令和6年度あま市地域福祉計画推進委員会を開催いたします。 本日は大変お忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。進行を務めさせていただきます社会福祉課 國立と申します。よろしくお願いいたします。 本委員会はあま市審議会等の会議の公開に関する要綱第3条に基づき、公開で開催いたします。本日、傍聴人の方はございませんので、ご報告申し上げます。 なお、本日は下方委員、小林委員、野田委員から都合によりご欠席の連絡をいただいております。 開会にあたりまして、委員長からごあいさつをいただくところではございますが、本日は新たな任期に入りまして初の推進委員会でございますので、後ほど委員長及が選任されましたら、ごあいさついただきます。 それでは、ここで、本日の会議資料を確認させていただきます。
事務局	資料確認
事務局	続きまして、次第2「委員紹介」について、担当よりご紹介させていただきます。
事務局	お手元の資料1をご覧ください。 平成31年3月に策定した第2次地域福祉計画の期間満了に伴い、令和6年3月に第3次地域福祉計画を策定いたしました。 それに伴いまして、新たに皆様に本委員会の委員として就任いただくことをご承諾いただきました。 皆様のご紹介につきましては、時間の都合上、お手元の委員名簿によりまして、ご紹介に代えさせていただきます。 また、委嘱状につきましては、あらかじめ皆様のお席に置かせていただいておりますので、これを委嘱状交付とさせていただきますこと、ご了承ください。 なお、任期につきましては、あま市地域福祉計画推進委員会要綱第4条の規定に基づき、任期中の計画における最終年度の3月31日（令和11年3月31日）までとさせていただきます。
事務局	皆様、どうぞよろしくお願いいたします。 続きまして、次第3「協議事項」にはいります。まず、(1)「あま市地域福祉計画推進委員会委員長の互選について」です。委員長の選任につきましては、資料2あま市地域福祉計画推進委員会要綱第5条第1項の規定により、本推進委員会の委員長の選出は各委員の互選により選出することとなっております。 何かご意見はございませんか？
委員	加藤 昭宏 委員にお願いしてはいかがでしょうか？
委員	異議なし。
事務局	ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

	ただいま「加藤 昭宏 委員」とのお声が挙がり、「異議なし」というお声も頂戴いたしましたので、委員長を加藤 昭宏 委員にお願いすることにいたします。 それでは、加藤委員長よりごあいさつをお願いいたします。
委員長	委員長を務めさせていただきます、同朋大学の加藤でございます。 先ほど、他の委員の方とお話させていただいておりましたが、普段あま市さんには、同朋大学の学生が様々な面でお世話になっております。ありがとうございます。 福祉を通じた地域づくりの視点を持ち、地域福祉計画を推進できるよう、各委員の専門的な見地からご意見やご助言をいただきながら委員会を進めていきたいと思っておりますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。
事務局	今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。 それでは、あま市地域福祉計画推進委員会要綱第6条第1項の規定により、ここからの議事進行は、加藤委員長にお願いいたします。 よろしくお願いいたします。
委員長	では、議長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。策定委員会要綱第5条第3項の規定により「委員長の職務を代理する委員」は、委員長の指名ということで、私より指定をさせていただきます。井村委員にお願いをしたいと思います。よろしくお願いいたします。 それでは、次第に沿って進めます。 次第3「協議事項」(2)『第3次あま市地域福祉計画』令和5年度の進捗状況・令和6年度実施計画について」、事務局より説明をお願いします。
事務局	お手元の資料3と本日配布いたしました、「第3次あま市地域福祉計画の概要版」を用いてご説明申し上げます。 ご説明に当たっては、1点目に地域福祉計画の概要、2点目に資料2の見方、3点目に令和5年度の事業実績の報告の順に進めさせていただきます。 資料3に沿って説明
委員長	ありがとうございました。 事務局から事業報告がありましたが、それについて各委員からご質問やご意見はございませんか。
委員	2点ほどお伺いしたい点があります。 まず、基本方針1の障がい者支援協議会において、障がいの特性についての理解や周知に努めているとありますが、私は障害者の親の会の代表として、どのような活動が行われているのか全く見えてこないです。どのような周知をされているのか教えてください。 次に、基本方針2の避難行動要支援者制度の充実について、民生委員から地域の自主防災会に名簿提供をお願いしてきましたが、本当に一昨年の防災訓練の際に初めて、その実情を知りました。区長と自主防災会会長が兼務しているため、毎年交代してしまうことが問題で、なかなか進まないようです。この点について、もう少し具体的な情報提供が必要ではないで

	しょうか。
委員長	はい、ありがとうございます。 2点、ご質問いただきましたが事務局いかがでしょうか。
事務局	失礼いたします。 まず1点目につきまして、障がい者支援協議会の活動として、啓発のチラシ配布や、中学生の人権教室、権利擁護センター主催の講演会の際に、啓発活動を行っています。しかし、ウェブサイトへの掲載が難しいため、周知が不十分とのことです。障がい福祉課に問い合わせいただければ、具体的な情報を提供することが可能です。 2点目につきまして、自主防災会の会長を複数年やっていただける方を求めています。地域組織の現状として課題があると認識しています。市としても、地域防災力向上のために、自主防災会の役割を周知徹底してまいります。
委員	私も民生委員としてその自主防災会会議に参加させ、いただく機会がもうちょっとあると思うのですが、またそのときにも私なりの立場から、やっぱり大切なことですので、これからいつ災害が起こるかわかりませんし、本当に、私たちの子供は特に自己判断で自主避難にとてもできません。自分の立場から自主防災会でいろんなことを発言させていただいて、これが少しでも進捗できるように頑張っていきたいと思います。 ありがとうございました。
事務局	ありがとうございます。 ぜひご協力のほどよろしくお願い申し上げます。
委員長	その他いかがでしょう。
委員	いくつかちょっと、ご意見というか、質問になるところかもしれません。 まず、基本方針1 地域コミュニティの再構築（6ページ）地域コミュニティ参加の周知啓発について、令和5年度の市民活動総参加者数は3,000人と記載されているが、実際には3,600人でした。今年度の実施計画では3,800人が目標とされているが、昨年度は3,600人で、関係者を含めた人数となります。 地域ホームページでのイベント周知は行っているが、イベント性が強くなると特定の場所やキッチンカーに人が集まるだけとなります。よって、本質的に市民が日常的に地域コミュニティに参加するための周知が重要と考えられます。 ボランティア活動の声は聞かれるが、現在、地域コミュニティ推進協議会の組織数は14であり、来年1か所増える予定。まだ十分に組織体が形成されていないエリアが多く、次の計画では、コミュニティ参加の方法を次世代に向けて再検討する必要があると感じています。 続いて、基本方針2 福祉コミュニティの充実（3ページ）について、市民活動センターに登録している団体数が今年度150団体から155団体に増加しているが、シニアが中心です。資源が乏しいため、行政との協働が必要であり、次の計画では双方のメリットを考えた連携が求められま

	す。 それから、子育て支援事業ネットワーク会議について、私も出させていた いただいておりますが、支援センターの参加者が減っており、働く母親が増え ているため、1歳から子供を預けることが多く、参加する親が減っている。 視点を変えた低年齢層の支援の見直しが必要となります。 あと、ボランティアマッチング（5ページ）のための窓口は、市民活動 センター、ボランティアセンター、生涯学習課の3つが存在します。各窓 口の資源を共有していないため、今後は課を越えた連携を強化し、マッ チングの機会を増やす必要性があると思います。 もう1点ですが、5ページの多文化共生の説明についてです。 外国人の増加により、多文化共生の取り組みが必要です。年に1度の国 際交流イベントだけではなく、日常的な交流の機会を増やす仕組みづくり が求められています。 以上です。
委員長	ありがとうございます。事務局なにかありましたら。
事務局	今の点に関して、行政の立場からすると非常に厳しいご意見を頂戴して いるところではございます。 今回は、第三次計画というところで取り組みを進めているところですが、 ぜひ一緒になって、ご意見を頂戴した内容を少しずつになるかもしれ ませんが、取り入れていきまして、よりあま市が地域共生社会の実現に近 づいていけるような団体になることを私も望んでおりますので、ぜひお力 添えをいただければと思います。 ありがとうございました。
委員長	ここで委員お二方のご意見につきまして、私からコメントさせていただきます。 市民活動センターと生涯学習課の取り組みが重なる部分を整理統合し て進めるべきで、新しい取り組みを作るよりも、既存のものをうまく重ね 合わせる事が重要と捉えています。 避難行動要支援者名簿については、他の自治体でもうまく活用できてお らず、見守り体制を構築することが求められています。名簿があっても動 けない人が多く、普段からの見守りが重要であると思います。 イベントの数値目標について、アウトプット指標と共にアウトカム指標 も検討すべきだと指摘させていただきます。また、イベント参加者数だけ でなく、例えば新たなコミュニティ参加者数なども重要であると考えま す。 その他ご意見はありますか。
委員	もう一つだけお願いします。 地域学校協働活動に関しまして、自身が7年前より地域コーディネータ ー、学校協働活動推進員として活動する身であります。各地域に1名ずつ が配置されており、その役割を務める中で、多数の学校を担当するのが難 しいと感じております。

	学校現場の問題を地域で解決するためにコミュニティの繋がりが必要だが、地域学校協働活動やコミュニティスクールがまだ市民に知られていないと感じています。 保護者や地域住民が協力することが重要であり、そのためには活動に対する理解と認知が欠かせないと思います。子供たちの声をしっかり聞くことで、問題の早期発見や対処が可能であることから、地域学校協働活動の周知徹底を求めています。
委員長	ありがとうございます。本日委員の中には、教育委員会よりお越しの方もいらっしゃると思いますので、よろしければご発言を。
委員	あま市のすべての学校は「コミュニティスクール」とされており、学校運営協議会の委員が委嘱されています。教育委員会内でも、コミュニティスクールの活用と周知を進め、学校への協力を働きかけています。 現在、社会状況の変化により、地域住民が学校運営に協力することが難しく、若い人たちがボランティア活動に参加しにくい背景があり、区長もその現状を認識しています。また、教師や公務員になりたいという人々が減少し、ボランティア活動への関心も低下していることも見逃せない点です。 コミュニティスクールや学校運営協議会の運営は、学校側から具体的な協力依頼をしなければ、地域からの自発的な協力が得られにくく、地域からの意見をもっと収集し、学校運営に役立てたいと考えています。 今日学校長もお見えですので、いかかでしょうか。
委員	各地区に1人のコーディネーターが配置されていますが、特に東地区は負担が大きく、コーディネーターの数を増やすことが提案されています。 また、同じコーディネーターが続けるメリットとデメリットがあり、世代交代も必要とされています。 学校の中で特定の授業や活動（例：家庭科の調理実習）に人手が足りない場合、学校や学校運営協議会の方々の協力が求められています。 ボランティアも含め、参加者を募るために継続的な呼びかけが重要です。
委員長	両委員ありがとうございました。
委員	コーディネーター1人では全てをカバーできないため、世代交代や他の協力者の参加が現実的に必要であり、次世代の育成を見据えた協力体制を求めています。
委員長	ありがとうございます。まだまだ意見も尽きないかもしれませんが、貴重なご意見をいただきました。 1点だけ私もいろんなところでお話させていただくと、人手不足の問題についての議論が一番難しいです。 ある市町だと、介護保険や障がい事業の認定調査など、地域での活動を支援しています。ボランティア活動に参加してもらうことで、将来的には介護保険利用者になる可能性がある人も含めて、地域の改善を目指しており、小さな積み重ねで担い手不足の改善を図っています。

	事務局の皆様には、いただいたご質問、ご意見を踏まえ、地域福祉計画の推進がよりよいものになればぜひ引き続きご尽力いただければと思います。 それでは、以上をもちまして本日の議題、すべて終了ということで進めさせていただきます。 委員の皆様、議事進行にご協力いただきありがとうございました。それでは進行を事務局にお返しをいたします。
事務局	ありがとうございました。 皆様よりいただきました貴重なご意見を参考に、計画の推進に邁進していく所存ですので、引き続き、ご協力の程お願いいたします。 最後に、次第4「その他」でございますが、各委員の皆様から全体でご意見などございますか。
委員	特になし
事務局	本日は大変お忙しい中、ご出席いただきありがとうございました。 これをもちまして、令和6年度地域福祉計画推進委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。